



月根尾

9月

226号

～「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です～

鵬雲祭

つくる
創 ー今しかできないことー

校長 高橋 尚彦

8月27日、28日の2日間、鵬雲祭を開催することができました。

本年度はコロナ感染症予防のために教育活動や部活動の大会が相次ぎ中止になりましたが、「鵬雲祭だけはどうしても成功させたい」という生徒の強い願いがありました。生徒会を中心に6月から文化祭、体育祭のプログラムの検討を行い、感染症防止のために何を優先するべきか考え、例年行っている内容を大きく見直すことによって学校内外に理解してもらえる計画を立ててくれたと考えます。内容を大きくカットせざるを得なかったことに残念な気持ちもあつたと思いますが、私はその判断と計画性に生徒の大きな成長を感じました。

今年の鵬雲祭のスローガンは「創(つくる)」～今しかできないこと～でした。これには「新型コロナに負けず、限られた制約の中でも新しいものを皆で創りたい」という生徒の強い思いが込められています。感染症予防という制約がある中でも思い切り自己表現し、仲間と協力し合い苦勞を乗り越えて鵬雲祭を成功させたい、という気持ちが伝わってきました。そして実際に、3年生を中心に素晴らしい文化祭・体育祭を創ってくれたと思います。ミュージックコンテストやクラスパフォーマンスは本年度に入って初めて取り組む本格的なクラス活動でしたが、強い団結力と仲間を思いやる姿を見せてくれました。体育祭の応援合戦では3年生がリーダーシップを発揮して1・2年生をまとめ、見事なパフォーマンスを見せてくれました。準備の段階から本番、そして後片付けまで、



▲書道同好会の生徒による
スローガンの揮毫披露！

一人ひとりの生徒が一生懸命に取り組んでいる姿を見ていると、飯南高校のよき伝統が今年も引きつがれたと心から嬉しく思いました。

長引くコロナ禍の中で、何となく心が晴れない日や漠然とした不調を感じる日がありました。しかし、朝早くから校舎にミュージックコンテストを練習する曲が流れ、昼は猛暑の中で汗をふきながら応援練習を行い、放課後は遅くまで文化部発表や生徒会企画の準備に追われながら頑張る生徒の姿を見ていると幸せな気持ちになりました。

これからまだしばらくはコロナと隣り合わせの生活が続きます。生徒は今年の鵬雲祭を通して例年の鵬雲祭で得られる仲間とのつながりや達成感のほかに、この困難な状況にあって、どのように考え、行動し、周囲と協力し合いながら学校生活を充実させるべきかを、身を以て学んでくれたように思います。

最後になりましたが、PTA活動が難しい状況の中で、環境整備活動や生徒のために昼食の手配をしていただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

また、日頃よりお世話になっている地域の皆様にも、感染症防止のため鵬雲祭のご案内をいたしませんでしたことを大変申し訳なく思っています。今後も地域の学校として頑張ってまいりますので、変わらぬご支援をいただきますようお願いいたします。

つくる
創 ~今しかできないこと~



◀家庭クラブの文化班の生徒が生け花の展示をしました

8月27日(木)
文化祭

今年度は1日で内容がギュッと詰まった文化祭に。クラスで絆を深めるミュージックコンテストやクラスパフォーマンスでは、クラスごとに構成や特徴がしっかりと表れていました。制限がある中、スローガンに沿った、工夫を凝らした発表になっていました。



▲ミュージックコンテスト▶
◀クラスパフォーマンス▼

8月28日(金)
体育祭

晴天に恵まれ、休憩や給水タイムを設け、熱中症対策をしながら進めていきました。競技は、昨年度までとは違った形で行われるものもありましたが、全力で競い、楽しむ姿が見られました。応援・デコレーション・衣装では、それぞれの係に分かれて学年を越えて協力し、色ごとに一つのを創り上げようとするパワーが伝わってきました。3年生のリーダーシップのもと、熱気あふれる体育祭になりました。



生徒会長の岡夢乃さんから 鵬雲祭への想いを聞きました

新型コロナウイルスの影響で、例年とは違う日程や競技になり残念な気持ちもありましたが、今しかできないことを創ることができ、これはこれでよかったのかなと思います。短い練習期間でミュージックコンテスト、クラスパフォーマンス、応援合戦などをここまで形にできたのは、一人ひとりが何事にも全力で取り組む姿勢があったからだと思います。私は2日間と限られた時間の中で、最高の思い出を作ることができました。鵬雲祭が開催できたことは当たり前なことではないので、たくさんの方に感謝しないとイケないと思います。この一年、学校を更に良くしようと執行部を中心に新たなことに挑戦してきました。うまくいくこと

ばかりではなく、何度も話し合いをし、例年とは違う活動もすることができました。学校のトップに立ち活動することはとても大変でしたが、みんなで協力して色々なことに挑戦することができてよかったです。飯南高校は何事にも一生懸命取り組む学校だと思います。これからも生徒一人ひとりが輝ける飯南高校であってほしいです。コロナウイルスの影響で地域の方に来てもらえなかったのは残念でしたが、保護者の方に私たちの頑張っている姿を見てもらえてよかったです。最高の鵬雲祭をありがとうございました。



岡さんは『飯南の☆は君だ』(70m走)3連覇!!

新しい生活様式に向けて

環境整備が進んでいます

校舎 では…

トイレの手洗い場の蛇口が ▶ センサー式に変わり、手を近づけると自動で水が出たり止まったりする仕様になりました。



寮 では…

▲1階の部屋の窓に格子がつき、防犯しながら換気がしやすくなりました。この格子は、緊急時に可動でき、脱出できる仕組になっています。



◀エアコンをつけている時も対角線上にある窓を開けて授業を受けています。各教室の前後に扇風機が設置され、併用することで、より換気効果を高めています。また、各教室の窓に網戸が設置され、虫を気にせず換気ができるようになりました。



▲食堂の全てのテーブルに透明のアクリル製の仕切り板が備え付けられ、食事時の飛沫感染予防に役立っています。

- 【1回戦】飯南 27 - 9 浜田水産
- 【準決勝】飯南 20 - 11 松江東
- 【決勝】飯南 18 - 16 江津

試合中に活躍した選手として

本校から3名が **ベスト7賞** に選ばれました★



◀ 田端闘威さん

原悠大さん ▶

◀ 舟越威人さん

今回の試合を終えて、キャプテンの吉岡さんは、「優勝したものの、やはりインターハイに出られないので、悔しいという思いもある。」と正直な胸の内を話してくれました。1年間キャプテンを務め、「とてもいい経験をさせてもらった。チームをまとめてきたと言うよりは、3年生が全員いたからこそここまでやる事ができた。けんかをしてぶつかることも多かった分、話し合いもたくさん重ねてきた。初心者ばかりのチームで、どのプレーが正解なのか



総体の代替大会で **優勝!!**

未だに分からないことも多いが、終わってみれば、みんなでハンドに真剣に向かい合うことができた時間だった。」と振り返りました。後輩に対しては、「なかなか先輩として引っ張っていくことができなかったが、プレーで教えるつもりでやってきた。今後は、新チームでまとまって頑張っていってほしい」とエールを送りました。

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症防止対策で声援が送れない代わりに、手作りのネームプレートや横断幕で応援していただき、ありがとうございました。

テニス部

8/22-23

令和2年度島根県高等学校テニス新人大会出雲地区予選

【女子シングルス】8名出場

- 岩本 遥 7位
- 三嶋祐紀 予選突破
- 安部千桜 予選突破
- 上田詩乃 予選突破



→上記4名が

県大会出場権を獲得!

【女子ダブルス】4ペア出場

野球部

8/22-23

令和2年度出雲地区リーグ戦

- 【予選リーグ1回戦】飯南 7 - 0 出雲工業
- 【予選リーグ2回戦】飯南 6 - 7 出雲西
- 【順位決定戦】飯南 12 - 7 三刀屋



10月の主な行事予定

- 1日(木) 振替休業日(10/3)
- 3日(土) 出校日 中間試験最終日
県外中学生対象学校説明会
- 5日(月) 球技大会



- 8日(木) サンレイク宿泊研修(～9日 1年)
- 13日(火) 三校R54ボランティア清掃(2年)
- 26日(月) 公開授業旬間(～11/6)
- 27日(火) ロードレース

※年度当初の予定から変更になっています。
今後も変更になる可能性があります。